

## 学会発表

### 国際学会

1. Nakahara T Current status and clinical management of atopic dermatitis in Japan. Chinese Dermatologist Association spring forum May 5, 2018
2. Nakahara T New era of therapeutics in atopic dermatitis: Future treatment options for atopic dermatitis. 28<sup>th</sup> International Symposium of Itch Sep 29, 2018
3. Ito T, Kohashi K, Yamada Y, Furue M, Oda Y. Prognostic significance of forkhead box M1 (FOXM1) expression and antitumor effect of FOXM1 inhibition in melanoma. International Investigative Dermatology 2018. 2018/5/16-19. Orlando, Florida, USA
4. Mitamura Y., Nunomura S., Nanri Y., Yoshihara T., Masuoka M., Tsuji G., Nakahara T., Furue M., Izuhara K. The IL-13/periostin/IL-24 pathway causes epidermal barrier dysfunction in allergic skin inflammation. 37<sup>th</sup> The European Academy of Allergy and Clinical Immunology Congress, 2018 年 5 月 29 日ドイツ
5. Ohno F, Nakahara T, Kido-Nakahara M, Furue M. Integration of periostin, M2 macrophages and integrin in human and murine melanoma progression. 5<sup>th</sup> Eastern Asia Dermatology Congress, June 21-24, 2018
6. Ohno F, Nakahara T, Furue M. Three prognostic factors in human melanoma; PD-L1 expression is associated with M2 macrophage infiltration but not with stromal periostin. 5<sup>th</sup> Eastern Asia Dermatology Congress, June 21-24, 2018

### 国内学会

1. 古江増隆、第 466 回日本皮膚科学会大阪地方会、スイーツセミナー Aryl hydrocarbon receptor 研究による社会貢献—油症および炎症性皮膚疾患の治療—、2018 年 3 月 10 日、大阪
2. 古江増隆、第 83 回日本温泉気候物理医学会総会、温泉療法医教育研修会、皮膚疾患と温泉入浴—植物湯の効能に対する学術的アプローチ—、2018 年 5 月 20 日、鹿児島
3. 古江増隆、第 117 回日本皮膚科学会総会、平成 30 年度日本皮膚科学会 Master of Dermatology (Maruho)賞 受賞講演、Aryl hydrocarbon receptor 研究による社会貢献—油症および炎症性皮膚疾患の治療—、2018 年 5 月 31 日、広島
4. 古江増隆、第 60 回日本老年医学会学術集会、ランチオンセミナー、高齢肌の乾燥とその対処法、2018 年 6 月 14 日、京都

5. Masutaka Furue, 2018 International Meeting on 22nd Microsomes and Drug Oxidations (MDO) and 33rd Japanese Society for Study of Xenobiotics (JSSX) Joint Meeting, Invited Lecture, Ah receptor: relevance to xenobiotic metabolism and physiological processes - AHR and skin-, 2018 年 10 月 2 日、金沢
6. 古江増隆、油症の 50 年とその治療—ダイオキシン類への対処法—第 6 回医学歴史館「医学歴史のうねり」セミナー世界をリードする九州大学医学部のコホート研究 ～半世紀を超えた歩みと将来の展望～2018 年 11 月 3 日、九州大学医学部百年講堂
7. 古江増隆、講演：ダイオキシン類の毒性作用と対処法、カネミ油症事件発生 50 年記念行事～油症の経験を未来につなぐ集い～、2018 年 11 月 17 日 五島市 福江総合福祉保健センター
8. 占部和敬. 皮膚アレルギー疾患の治療. H29 年度広域病院研修会. 2018/1/23 福岡市
9. 内 博史. 進行期メラノーマに対する薬物治療. 第117回日本皮膚科学会総会. 2018/6/1. 神戸
10. 内 博史. メラノーマのアップデート. 第34回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会. 2018/7/7. 浜松
11. 内 博史, 和田尚子, 古江増隆. 悪性黒色腫の病型による新規治療薬の効果. 第16回日本臨床腫瘍学会学術集会. 2018/7/20. 神戸
12. 内 博史. メラノーマの術後補助療法の変遷. 第56回日本癌治療学会学術集会 2018/10/18. 横浜
13. 内 博史, 和田尚子, 古江増隆. 陰茎絞扼症の1例. 第55回癌治療学会学術集会. 2017/10/22. 大阪
14. 内 博史. 進行期メラノーマの治療の進歩と術後補助療法. 第70回日本皮膚科学会西部支部学術大会. 2018/11/10. 松江
15. 内 博史. 進化する悪性黒色腫の治療. 日本皮膚科学会第387回福岡地方会. 2018/11/23. 福岡
16. 中原剛士、片岡葉子、室田浩之、二村昌樹、佐伯秀久、古江増隆、大矢幸弘、片山一朗、加藤則人.Harmonizing Outcome Measures for Eczema (HOME)でのアトピー性皮膚炎の治療に対する国際的な評価基準作成の取り組み.アトピー性皮膚炎治療研究会第 23 回シンポジウム 2018 年 2 月 10 日
17. 中原剛士、藤田浩之、有馬和彦、田口有里恵、本山聡平、古江増隆.アトピー性皮膚炎の疾病負荷および治療の現状における患者と医師の認識の相違に関する検討.第 67 回日本アレルギー学会学術大会 2018 年 6 月 22 日
18. 中原剛士.職域でのアレルギー患者の就業と治療の両立支援と受診勧奨.第 28 回 日本産業衛生学会 全国協議会 ランチョンセミナー4 2018 年 9 月 15 日

19. 中原剛士. アトピー性皮膚炎治療におけるかゆみを意識した外用療法. 第 55 回日本小児アレルギー学会学術大会 教育セミナー8 2018 年 10 月 21 日
20. 中原剛士. 医師と患者からみたアトピー性皮膚炎の疾病負荷と治療満足度 AD 治療のゴール設定 ～コントロール良好とは～. 第 70 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 スポンサーシンポジウム 2018 年 11 月 10 日
21. 中原剛士. 蕁麻疹の病態・治療アップデート ～蕁麻疹診療ガイドラインの改定ポイントを含めて～. 第 70 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 ランチョンセミナー7 2018 年 11 月 11 日
22. 中原剛士. アトピー性皮膚炎患者が抱える疾病負荷:メンタルヘルスを中心に. 第 48 回日本皮膚免疫アレルギー学会大会 ランチョンセミナー7 2018 年 11 月 18 日
23. 中原剛士. 乾癬の病態形成における IL-23・IL-17 の役割と生物学的製剤の選択. 第 387 回日本皮膚科学会福岡地方会 2018 年 11 月 23 日
24. 中原真希子、シンポジウム 17 アトピー性皮膚炎:病態と治療のアップデート かゆみのメカニズムと最近のかゆみ研究の進歩 第 67 回日本アレルギー学会学術大会 2018/6/22-24 千葉
25. 中原真希子、ランチョンセミナー「かゆみ up date」かゆみのメカニズムと最近のかゆみ研究の進歩 第 117 回日本皮膚科学会総会 2018/5/31-6/3 広島
26. 辻学 芳香族炭化水素受容体によるアトピー性皮膚炎のかゆみに関するサイトカインの制御機構 環境医学研究所 第 4 回学術シンポジウム 2018/11/17 東京
27. 辻学. 併存疾患を有する乾癬の治療 -TNF- $\alpha$  阻害薬のポジショニング- 第 387 回日本皮膚科学会福岡地方会 2018/11/23
28. 辻学 芳香族炭化水素受容体を介した抗酸化機構の活性化について 第 9 回 CIA 研究会 大分市 2018/11/24
29. 工藤恭子. スキンケア～明日からの処方と指導のコツ. 第 121 回日本小児科学会学術集会 ランチョンセミナー, 2018/4/20, 福岡市
30. 工藤 恭子, 増田 亜希子, 溝部 太郎, 小野山 さがの, 古野 憲司, 古江 増隆. 固定薬疹と鑑別を要した artificial dermatitis. 第 42 回日本小児皮膚科学会学術大会, 2018/7/14, 東京
31. 工藤 恭子, 増田 亜希子, 佐竹 真緒, 古江 増隆. こども病院皮膚科における症例の紹介～2018 年版. 第 387 回福岡地方会, 2018/11/23, 福岡市
32. 吉田舞子、中原真希子、内博史、古江増隆、春山護人. 線状 IgA 水疱症の 2 例. 日本皮膚科学会第 387 回福岡地方会
33. 伊東孝通. 教育講演 メラノーマの外科治療の基本 第 70 回日本皮膚科学会西部支部学術集会 2018/11/10-11 松江市

34. 杉山晃子, 岸川禮子, 本莊哲, 岡部公樹, 河野徳子, 岩永知秋, 古江増隆. 小麦運動負荷検査で陽性であった WDEIA 患者 67 症例の臨床的検討. 第 67 回日本アレルギー学会学術大会. 2018/6/22-24 幕張
35. 杉山晃子. シンポジウム 4 皮膚科における AE(アレルギーエデュケーター)の役割. 第 35 回日本小児臨床アレルギー学会. 2018//7/29-30 福岡
36. 見明 彰, 辻 学, 竹村 正規, 中原 剛士, 古江 増隆. アトピー性皮膚炎における樹状細胞の IL-31/IL-31 受容体シグナルの役割. 第 28 回日本樹状細胞研究会 2018/6/29 名古屋
37. 三田村康貴, 布村聡, 南里康弘, 吉原智仁, 中原剛士, 古江増隆, 出原賢治 IL-13/ペリオスチン/IL-24 経路によるアトピー性皮膚炎における表皮バリア破壊機構. 第 67 回日本アレルギー学会学術大会 2018 年 06 月 22 日 千葉
38. 三田村康貴, 村井美華, 三苫千景, 古江増隆. シンナムアルデヒドによる NRF2 活性化を介した線維化制御機構の解明. 第 48 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会 2018 年 11 月 11 日 奈良
39. 佐々木誉詩子, 内 博史, 古江増隆, 松永佳世子. カラーシャンプーによる接触皮膚炎後に著明な色素脱失斑を生じた 1 例. 第 48 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会. 2018/11/16-18 奈良
40. 原口祐子, 菊池智子, 西田顕二郎. 関節リウマチの経過中に発症した持久性隆起性紅斑の一例. 第 82 回日本皮膚科学会東部支部学術大会 2018/10/6, 旭川市
41. 石田倫子, 中原真希子, 河原紗穂, 内博史, 宮崎玲子, 桐生美麿, 古江増隆. 顆粒変性を伴った表皮母斑の 2 例. 第 385 回皮膚科学会福岡地方会 2018/7/1, 久留米市
42. 石田倫子, 中原真希子, 宮崎玲子, 桐生美麿, 古江増隆. 2 歳児に発症した顔面播種状粟粒性狼瘡の 1 例. 第 70 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2018/11/10-11, 松江市
43. 大野文嵩, 中原剛士, 古江増隆. Three prognostic factors of melanoma; Periostin, M2 macrophages and PD-L1. 第 28 回 日本樹状細胞研究会, 2018/6/28-30, 愛知
44. 武 信肇, 辻 学, 高原 正和, 古江 増隆, 安澤 数史, 松田 哲男. *Cladophialophora boppii* による黒色菌糸症の 1 例. 第 62 回日本医真菌学会総会. 2018/9/8-9, 東京都
45. 増田 亜希子, 前村 紘美, 河津 宗太郎, 原田 佳代, 占部 和敬. 線状 IgA/IgG 皮膚症の 1 例. 日本皮膚科学会第 386 回福岡地方会 2018/9/16 北九州市

46. 増田 亜希子、前村 紘美、河津 宗太郎、原田 佳代、占部 和敬. るいそうの男性に合併した多発巨大痛風結節の1例. 第70回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2018/11/11 島根県松江市
47. 木村七絵, 中原真希子, 宮崎玲子, 中原剛士, 千貫祐子, 古江増隆.  $\alpha$ -gal 感作による牛肉アレルギーと考えられた一例. 第48回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会 2018/11/18, 奈良市
48. 坂本佳子, 伊東孝通, 西尾紀一郎, 宮崎玲子, 古江増隆. 神経線維腫症2型と関連のない多発性神経鞘腫の1例, 第69回日本皮膚科学会中部支部学術大会. 2018/10/28, 大阪
49. 小糸 理紗, 独孤 龍, 末永 亜紗子, 一木 稔生, 幸田 太, 千葉 貴人. 左下腿の筋上皮癌が疑われた1例. 第117回日本皮膚科学会総会. 2018/5/31-6/3 広島.
50. 小糸 理紗, 独孤 龍, 末永 亜紗子, 一木 稔生, 幸田 太. 当科での同種死体皮膚移植と自家培養表皮移植の使用経験について 第387回福岡地方会. 2018/11/23 福岡.
51. 前村紘美、高松紘子、挽地史織、原田佳代、占部和敬. 皮疹を呈した Castleman 病の2例. 日本皮膚科学会第384回福岡地方会 2018/3/11 福岡市
52. 松田知与, 和田尚子, 江藤綾佳, 木村七絵, 内博史. 灯油皮膚炎の1例. 第387回福岡地方会 2018.11.23, 福岡市
53. 森岡友佳, 廣瀬朋子, 執行あかり. 肺癌に対するニボルマブ投与後に irAE を生じた1例. 日本皮膚科学会第385回福岡地方会 2018/7/1. 久留米市
54. 塚本 華倫, 和田麻衣子, 井手豪俊, 伊東孝通, 三苦千景, 内 博史, 古江増隆. ゲフィチニブ, ラムシルマブ投与中に炎症性表皮嚢腫から難治性皮膚潰瘍を生じた1例. 第386回 福岡地方会, 2018/9/16, 北九州市
55. 塚本 華倫, 大野麻衣子, 一木稔生, 井手豪俊, 永江航之介, 伊東孝通, 辻学, 内 博史, 古江増隆. Buschke-Löwenstein tumor の一例. 第82回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 2018/10/6, 旭川
56. 仲本すみれ, 井上寛子, 劉軒, 竹之下博正, 西平智和, 古江増隆. V.A.C.ULTA<sup>®</sup> を使用した3例. 第83回佐賀地方会 2018/5/13, 佐賀市
57. 仲本すみれ, 井上寛子, 竹之下博正, 夏秋まき子, 古江増隆. DPP-4 阻害薬内服により水疱性類天疱瘡を発症した1例. 第387回福岡地方会 2018/11/23, 福岡市
58. 挽地 史織、高松 紘子、前村 紘美、原田 佳代、占部 和敬、高濱 宗一郎、山本 政弘. 急性 HIV 感染症の2例. 日本皮膚科学会第384回福岡地方会 2018/3/11 福岡市

59. 挽地 史織、前村 紘美、高松 紘子、占部 和敬、古江 増隆. 伝染性膿痂疹と鑑別を要した好酸球性膿疱性毛包炎 Eosinophilic pustular folliculitis: EPF の1例. 第 117 回 日本皮膚科学会総会 2018/6/11 広島市
60. 河津宗太郎、増田亜希子、原田 佳代、占部 和敬. 急性 HIV 感染症:続報. 日本皮膚科学会第 385 回福岡地方会 2018/7/1 久留米市
61. 河津宗太郎、増田亜希子、原田 佳代、占部 和敬. イミキモド 5%クリームが奏功した疣贅の 2 例. 日本皮膚科学会第 387 回福岡地方会 2018/11/26 福岡市
62. 河津宗太郎、竹内聡、松田哲男、占部和敬. 有棘細胞癌との鑑別を要した深在性皮膚真菌症の 1 例. 第 62 回日本医真菌学会総会 2018 年 8 月 8 日(土)~9 日(日)大手町サンケイプラザ(東京).
63. 河津宗太郎、康渚、池田真希、松田哲男、竹内聡. 有棘細胞癌との鑑別を要した深在性皮膚真菌症の一例. 日本皮膚科学会第 384 回福岡地方会 2018 年 3 月 11 日(日)ホテルニューオータニ博多(福岡市)
64. 呉竹景介、小田真理、松田哲男、竹内聡. 早期に治療を開始し得た日本紅斑熱の 1 例. 第 70 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2018 年 11 月 10 日(土)~11 日(日)島根県民会館(松江市)
65. 佐竹 真緒, 工藤 恭子, 久保 亮治, 古江 増隆. Conradi 症候群の一例. 第 385 回福岡地方会 2018/07/01, 久留米市
66. 佐竹 真緒, 工藤 恭子, 増田 亜希子, 小野山 さがの, 古野 憲司, 古江 増隆. IVIG(献血ポリグロビン N<sup>®</sup>)で DIHS(薬剤過敏症症候群)に至った小児例. 第 387 回福岡地方会 2018/11/23, 福岡
67. 永井 貴子、康 渚、池田 真希、吉澤 誠司、竹内 聡. IgG4 関連疾患と鑑別を要した抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎の一例. 日本皮膚科学会第 384 回福岡地方会 2018 年 3 月 11 日(日)ホテルニューオータニ博多(福岡市)
68. 矢野温子, 三苦千景, 内 博史, 中原真希子, 古江増隆. 色素線条を呈した sublingual Bowen's disease.第 385 回福岡地方会 2018/07/01, 久留米市
69. 矢野温子、辻学、中原真希子、中原剛士、三苦千景、内博史、古江増隆. Atrophic dermatofibroma の一例.日本皮膚科学会第 386 回福岡地方会 2018/9/16 北九州市
70. 矢野温子,三苦千景, 永江航之介, 内 博史、古江増隆. 頬部に生じた papular elastosis.第 387 回福岡地方会 2018/11/23, 福岡
71. 竹村正規、辻学、古江増隆. 大豆抽出タール(グリテール)は骨髄由来樹状細胞における IL-4 誘導性の Ccl 17、Ccl 22 の産生を抑制する. 第 28 回日本樹状細胞研究会 2018/6/29 愛知